

## 情報システム・バックアップオフィス研究会（ITB0 研） 2014年度 第6回 議事録

### 1. 開催概要

- 開催日 : 2015年1月13日（火）16:30～18:30
- 開催場所 : BCA0 東京オフィス
- 進行役 : 大塚（：座長）
- 議事録作成 : 大塚（：座長）
- 出席者数 : 9名（講師含む。出席者名は末尾参照）
- 配布資料 : [サイバーセキュリティ基本法と NISC] （斎藤氏より）  
[勉強会 スポーツイベントとサイバー攻撃] （斎藤氏より）

### 2. 議事内容

#### （1）はじめに（報告：大塚）

皆様、新年あけましておめでとうございます。ことしもどうぞよろしくお願いいたします。さて、今回は新年にふさわしいゲストとして IIJ 斎藤 衛様をお招きしました。後程ご本人から自己紹介に続いてサイバーセキュリティをめぐる最新情報のお話を頂きます。

#### （2）ご連絡事項（報告：大塚）

- ① BCA0 運営会議（12/16 開催）で BCA0 PR パンフレットの作成についての議論。新規会員獲得のために新パンフレットを作成することとなりました。現行の BCA0 パンフレットは情報を Update し存続します。理事長メッセージ、会員からの声、BCA0 活用術などの内容を盛り込む。今後 BCA0 事務局で校正し、仕上げはプロに任せることも検討します。
- ② 2014 BCA0 アワード選考委員会第一回会合；12/22 18:30-  
20 件の応募に対し、役員、選考委員幹事、事務局でアワード応募案件整理票を記入し、順にブリーフィングを行いました。（候補者リストを回覧）。今年の応募は例年に比べいずれもかなり高いレベル。ほとんどすべてに何らかの賞を割り当てることで合意しました。（賞＝大賞、優秀実践賞、特別賞、奨励賞、訓練賞、企業防災賞、震災対応特別賞）今後、二回目の会合を経て賞を決定します。授与式は3月16日（月）午後 仙台市 AER TKP ガーデンシティ仙台 ホールC（収容100-150名）

#### （3）先月 ML で話題になったテーマ（報告：大塚）

- ① 米ソニー・ピクチャーズエンタテインメントへのサイバー攻撃をきっかけとして米国が北朝鮮に対し制裁に動き出す。

「ハリウッド俳優の社会保険番号、未公開映画5本の映像、従業員の給与や住所など100テラバイトの情報が流出。サーバがダウン、電子メールが使えず」

[http://digital.asahi.com/articles/ASGD54RSBGD5UHB100N.html?iref=comkiji\\_txt\\_end\\_s\\_kjid\\_ASGD54RSBGD5UHB100N](http://digital.asahi.com/articles/ASGD54RSBGD5UHB100N.html?iref=comkiji_txt_end_s_kjid_ASGD54RSBGD5UHB100N)

DRII CEO Alan Berman氏は、「It's clear Sony didn't have a proper plan in place to ensure the necessary technology was available to employees following the attack.」と述べています。

最近のオバマ大統領の発言では、今回の事件をきっかけに国家安全保障問題までエスカレートする気配です。

- ② ドローンの商用利用に向けて国内でも環境整備開始。「大空に野放しは「危険」無人機の運用、法規制へ」

<http://www.sankei.com/politics/news/141226/plt1412260004-n1.html>

「GEが小型無人航空機ビジネスを開始！ドローン標準化で世界の覇権を狙う（ITpro：12/25）」

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/atcl/column/14/561129/121700010/>

ドローンはIoTの一つの象徴と考えられます。IoTでは監視、制御系の技術がインターネットを基盤として利用されるため、サイバーリスクによる「物理的なインフラの停止」を想定した、BCを構築することが健全なビジネスの育成に欠かせません。航空機、鉄道、物流システム、電気ガス水道供給、金融などなど社会インフラの運航システムがどんどん自動化されていく中でこれらの監視、制御系システムのサイバーセキュリティの確保の問題が今後、クローズアップされていくと思われます。今後、米国のドローンの対応のように業界内でのIoT機器の標準化の中にセキュリティ対策機能を織り込むこと（GEはドローン制御装置の標準化、「Autopilots」を推進）と、法規制の整備の進展に合わせセキュリティ保護を明文化すること（FAAは今年中にドローンの飛行に関する規制法案を公表するとしている）の両面の活動を展開すべきでしょう。

※「Autopilots」はドローンの制御装置で、ARMプロセッサを搭載した制御ボックス、Linux基本ソフト、関連ソフトウェアから構成される。

### 3. 本日のプレゼンテーション・意見交換（IIJ 斎藤様）

「標的型メール攻撃～皆さんの会社ではどう備えている？」

ゲスト：IIJ サービスオペレーション本部セキュリティ情報統括室 斎藤 衛氏

今年度、ITB0研究会では「重要インフラに対するサイバー攻撃による事業継続を考える」をテーマに活動しています。IIJ様は、「情報通信」の分野の「電気通信」事業の「T-CEPTOAR」に属しており同時にテレコムアイザック推進会議のメンバーとして積極的に活動しておられます。また、IIJ斎藤様は長年情報セキュリティの有識者として、政府のサイバーセキュリティ政策の推進活動に協力されています。本日は、

1. サイバーセキュリティ基本法とNISC

2. スポーツイベントとサイバー攻撃（2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて）

のテーマでお話しいただいた後、メンバーからの質疑応答を行いました。

以下、概要です。

（1）日本語入力環境（IME）のクラウド変換機能利用に関する注意喚起

昨年、斎藤氏が中心となって発見したセキュリティ事案。中国製PCにバンドルされていた、フリーソフトウェアBaidu（百度）IME、Simeji、Social IMEをそのまま使うと利用者が認識せずに入力情報をサーバに送信、情報がダダ漏れ状態になる。デフォルトでクラウド変換機能が有効になっていたため。IMEベンダを信用した上で当該機能を利用するのでなければ、情報漏えい事故となる。当該IMEの利用状況の確認と適切な措置を！以上、情報発信した結果、2社のマスコミに取り上げられた。

（２）NISCの活動、政府統一基準

政府内のセキュリティレベルの均一、底上げにあたり、リスクベース（＝リスク分析手法と対策セット）による対策の優先順位づけと残余リスクの把握に重点。

標的型攻撃対策に対しては、従来の侵入防御だけでは不十分。IPAの脅威と対策研究会’と連動して活動し、Out-Boundに対しての防御策を講じる必要があるとした。

（３）NISCの活動、GSOC、CYMAT

GSOC：Government Security Operation Center 政府機関横断監視、即応調整チーム、有償で政府のシステムの監視サービスを実施。

CYMAT：情報セキュリティ緊急支援チーム、各府省内CSIRTは個々の能力としては連絡網にすぎない、私設消防団みたいなもの。しかしCYMATが出来て中央省庁と内閣官房の緊急時の連携が可能になった。

（４）NISCの活動、重要インフラ事業者とセプターを組織

※ セプターとは情報連絡、共有機能のこと

セプターの機能はNISCからの情報を事業者に伝達する一方向である。サイバー攻撃に関する事業者から政府への情報の流れは、各事業法に基づき事業者から監督官庁に伝達するかたち。

しかし、たとえば、通信分野での標的型攻撃で考えると、NISCから通信セプターに他業者で攻撃があったという情報が伝わるが、逆に通信事業者の電気通信事業法での報告義務は通信の大規模障害の範囲であり、標的型攻撃そのものは対象とならないため100%すべての情報が報告されるわけではない。

（５）NISCの活動、人材育成

IPAの試算で、「情報セキュリティ従事者 26.5万人の内、質的不足16万人、量的不足 8万人」としているが、そもそもそんなにたくさんのセキュリティ専門家がいた社会は危険。セキュリティ専門家の倫理基準の設定とクリアーなんかが必要であろう。まず普通のIT技術者が自身の業務範囲内のことを守ることが重要！

（６）NISCの活動、情報セキュリティ研究開発戦略、国際連携

Globalで特に注目しているのはASEAN、人口で見て中国に対応できる経済規模がある。

(7) スポーツイベントに関連して発生したサイバー攻撃(+DDoS攻撃の規模)

以前は1Gbps程度と想定していたが2014年国内実績で100Gbps規模の攻撃が発生している。なぜなら、ホームルータを狙った踏み台攻撃が大規模化（セフトトップBOX系）していることが原因のひとつ。たとえばSsdp（UPnP/Universal Plug and Play）で使用されるプロトコルSSDP（Simple Service Discovery Protocol）を悪用したSSDP リフレクター攻撃）に応答する個人ルータが百万台以上が存在していた。現状も五十万台以上ある！（例えばL社のルータ3機種）個人ルータの扱いや管理レベルが家電と同じ意識であることに問題がある。メーカー、ユーザーともに対策を検討する必要がある。

(番外) 2015年秋のマイナンバー制度開始にあたり

まず、企業の対応が重要。社員、その家族の人事情報は企業で管理されている。企業は人事情報に一つの管理項目欄が増えるだけというイメージと想像するが、マイナンバーは究極の個人情報（生涯変わらない情報）である。これが外部に漏れいすると大きな問題になる。実際米国ではSS（社会保障番号）のブラックマーケットが存在する。（先のソニーピクチャーズ社で多くのSSが漏れたことは大変な問題である）

全ての会社は、このデータを狙う犯罪者に備えること（内部犯行含め）。法制度は後から追いつこうとしている。

4. これからのITBO研究会の日程

|    | 開催日 |          | 時 間         | 場 所         |
|----|-----|----------|-------------|-------------|
| 次回 | 6   | 2月23日（月） | 16:30～18:30 | BCAO 東京オフィス |
|    | 7   | 3月10日（火） | 16:30～18:30 | BCAO 東京オフィス |

次回、2月の研究会は、当初2/10としていましたが、伊藤（ルナ）様をゲストにお呼びし、「最新NY ITビジネス事情」を語っていただき、皆様とディスカッションすることとしたため2/23（月）と変更することを予定しています。詳細が次回研究会開催案内でご連絡します。皆様、どうぞ日にちをお間違えないようにご参加ください。

5. お願い

ITBO 研は日々のMLでの情報交換&ディスカッション活動が中心です。月例会は、MLでのやりとりの整理と発信者からの追加コメントとみなさんのディスカッションです。MLでのやりとりは座長にて交通整理を行うので、みなさん、自由に提言し、どしどしディスカッションに参加してください。

6. 2014年度 ITBO研究会会員（敬称 略）

| No. |     | 氏 名   | 参加 | 所属       |
|-----|-----|-------|----|----------|
| 1   | 座長  | 大塚 純一 | ○  |          |
| 2   | 副座長 | 関山 雄介 |    | 大成建設     |
| 3   | 副座長 | 伊藤 高信 | ○  | FUN Inc. |
| 4   |     | 近藤 隆一 | ○  |          |

|    |        |       |   |                     |
|----|--------|-------|---|---------------------|
| 5  |        | 岡 伸幸  |   | ソフトバンク BB           |
| 6  |        | 吉川 明人 | ○ | NECネクサソリューションズ      |
| 7  |        | 安齊 隆正 | ○ | 富士通エフサス             |
| 8  |        | 海田 雅人 |   | 東京共同会計事務所           |
| 9  |        | 西出 三輝 |   | 損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント |
| 10 |        | 野原 英則 | ○ | 京セラ                 |
| 11 |        | 宮島 正孝 |   | セイコーエプソン            |
| 12 |        | 山口 孝一 | ○ | IIJ                 |
| 13 |        | 森口 泰樹 |   | AIG                 |
| 14 |        | 加藤 誠  |   | 日立コンサルティング          |
| 15 |        | 後藤 富雄 |   | イマジネーションテクノロジーズ     |
| 16 |        | 木村 信弥 |   | 株式会社 ディー・オー・エス      |
| 17 | オブザーバー | 伊藤 嘉浩 |   | キングフィッシュコミュニケーション   |
| 18 | オブザーバー | 日下 太一 |   | 住友電気工業              |
| 19 | オブザーバー | 斎藤 衛  | ○ | IIJ                 |
| 20 | オブザーバー | 小友 修  | ○ | 富士通エフサス             |
| 21 | オブザーバー | 飯田 清人 |   | 江崎グリコ株式会社           |

(以上)